

模擬講義

学類	専攻	講義No.	開講時間	会場		講師	講義テーマ・概要
				建物	教室		
人間発達文化学類	人間発達専攻		11:00 ~ 11:30	M棟	M-2	西内 裕一	「テレビゲームと学習」 授業では、代表的な先行研究を紹介しつつ、テレビゲームの「学び」に役立つ側面に光が当てられます。いわば「有害」対「無害」という図式に換えて、学習にとって「有効」対「無効」という図式が提示されます。「桃太郎電鉄」のような日本国内で販売された「学習」に「有効」なゲームソフトも併せて紹介していきます。
			11:45 ~ 12:15	L棟	L-4	荻路 貴司	「高校生のための教職入門」 人間発達文化学類での教職教育について概観した後、学類の実践科目である「自然体験学習」に参加した学生たちの報告会を開きます。小中学生を指導する「体験学習」への参加を通して教職に向けて元気に準備している学生たちの姿を見てもらうことで、人間発達文化学類への進学、また入学後の教職への準備へ動機づけを行います。
			12:55 ~ 13:25	M棟	M-2	松崎 博文	「特殊教育から特別支援教育への転換」 従来の心身障害児を対象とした特殊教育から発達障害児をも含めて支援する特別支援教育への転換の意義や、福島大学で開設している発達障害児の早期支援教室（「つばさ教室」）の取組の様子、さらには本学の姉妹校であるミドルテネシー州立大学の早期支援センター（プロジェクトHELP）での取組も紹介します。
			13:40 ~ 14:10	L棟	L-4	住吉 チカ	「るんりのりろん」 「論理的に考えなさい」などよく言われませんか？でも「論理的に」とは具体的には、どのようなことなのでしょう？また論理的に考えられないと日常生活で何か困るのでしょうか？この講義では「論理的思考」とはどのようなものか、またわれわれは日常生活で論理的に考えることが出来ているのかについて、心理学の研究をもとに考えてみます。みなさんも講義でちょっと頭を使ってみませんか？
			14:25 ~ 14:55	L棟	L-4	澤 正宏	「なぜ、学ばなければならないのか」 大学に入學すると、自分で自分の学習を計画し、受身ではなく自分から進んで実際に学び、自分を生涯にわたって支えてくれる、社会にも通用するような課題や研究などの端緒を見いだしていかなければなりません。そういうことをふまえて、なぜ学ぶことが必要なのかという原理的な問題を様々な角度から考えてみたいと思います。
	文化探究専攻		11:00 ~ 11:30	M棟	M-1	澁澤 尚	「漢字の神秘的な世界 ~ 風と虹のものがたり ~」 文明とともに生まれた古代文字の中で、なぜ漢字だけが現在まで使われ続けているのでしょうか。漢字を発明したのは誰なのでしょう。漢字の御先祖「甲骨文」を示しながら、その神秘的な世界をひもときます。日々の風のそよぎ、虹の輝きにも神々を感じとり、そこから漢字を生み出した古代人の心象に迫りましょう。
			11:45 ~ 12:15	M棟	M-1	千葉 桂子	「ファッションとエコは共存できるか？」 現在、ファッションは多様化し一人ひとりのニーズにマッチさせるために多くの商品が生産・販売されています。また、環境保全および循環型社会を実現するためにファッションのあり方が問われています。この授業ではファッションとエコをめぐる現状を捉え、みなさんと一緒に共存の可能性について考えたいと思います。
			13:40 ~ 14:10	M棟	M-1	飯嶋 良太	「英語で絵本を読んでも」 英語の試験で高い点数を取った大学生でも、いざ英語の本を読むとなると消極的になることが多いです。選んだ本が難しすぎたり、不自然な読みかたをしているからです。この授業では何冊かの絵本を教室に用意し、苦痛の少ない読みかたを説明します。実際に手に取って、自分で本を選び、英語の読書を経験してもらいます。
			14:25 ~ 14:55	M棟	M-2	栗原 秀幸	「数学と数学教育をめぐって」 1. 小学校から学習させられてきた数学と、大学の数学との違い。 2. 数学教育はどこに向かおうとしているのか。 3. 何を、子どもたちに学んでほしいのか。 などについて、私見を述べるとともに、簡単なパズルやクイズの問題なども取り上げながら、「人間発達文化学類」の「数理科学クラス」での、学習の一端を紹介する予定です。
	スポーツ・芸術創造専攻		11:00 ~ 11:30	L棟	L-4	渡邊 晃一	「『現代美術』の解剖学」 本講義では、美術解剖学を通して、実際に「人体」の見方や描き方を学んでいきます。ヒトと他の動物の「からだ」は、どのような点が違うのでしょうか。また、短い時間で人体を上手く描くようになりたいと思いませんか。 将来、大学で美術を専門的に学びたい方だけでなく、「身体」に興味のある方、絵が上手になりたい方など、幅広い方々の受講が可能です。 1、日本人の「身体観」 ・三つのArtに関わる「術」から 2、「立つ」ことの意味 ・動物と人体の比較から 3、私の「身体」 ・メディア時代の「身体」
			11:45 ~ 12:15	総合教育研究センター1階	M.L教室	嶋津 武仁	「パソコンで音楽をつくらう！」 この授業では、パソコンを使って音楽を作る方法をご紹介します。併せて、参加者にもその場で作ってもらうという授業です。音楽、パソコンの知識は特にありません。
			12:55 ~ 13:25	M棟	M-1	杉浦 弘一	「暑熱環境下での運動と水分補給」 暑い環境での運動時には身体機能障害（熱中症など）が発生しやすくなります。本模擬授業では、暑熱環境下での運動時に起こる熱中症について概説するとともに、暑熱環境下での運動時に重要な水分補給の方法等につれ、暑さによるパフォーマンス低下の予防について概説します。
		14:25 ~ 14:55	M棟	M-1	小川 宏	「スポーツ文化を科学する」 スポーツは現代社会の中で多くの人に親しまれている文化です。本授業では、「スポーツ」や「文化」について、また、スポーツ文化と私たちの関係について、様々なスポーツの例や日常の例を出しながら、解説していきます。	

学類	専攻	講義No.	開講時間	会場		講師	講義テーマ・概要
				建物	教室		
行政政策学類	法学専攻		10:15 ~ 10:45	M棟	M-22	垣見 隆禎	「『隣人訴訟』と日本人の法意識又は法の役割」 みなさんは、「法学」ってどういう勉強をするんだと思ってますか？分厚い法令書（「六法全書」）などに細かい字でぎっしりと、しかも普段は使わないような漢字だらけの言葉で書かれている法律の条文をひたすら覚えることだと思いませんか？あるいは、裁判というものは、ある事実を法律に当てはめれば自動的に結論（判決）が出てくる自動販売機のようなものだと考えていませんか？今回の授業では、お隣さん同士が裁判の当事者となったことで有名になった「隣人訴訟」を素材に、そうした先入観をくつがえすことを目的に行いたいと考えています。
	地域と行政専攻		10:15 ~ 10:45	M棟	M-21	大黒 太郎	「2学群4学類って何？ 政治学で身近な疑問を考える」 独立行政法人化などを例に挙げながら、「自由」と「強制」が両立するかもしれないということについてお話しします。
	社会と文化専攻		13:40 ~ 14:10	M棟	M-21	後藤 史子	「映画から理解するアメリカの文化と社会 「グローバル」な視点のために」 行政政策学類では、「グローバル」な視点、つまり地域社会を地球的な視野でとらえる視点を養うために世界の諸地域の文化を学ぶ科目・授業があります。当模擬授業では現代アメリカ映画を読み解きながら、アメリカ文化の何をどう私たちの地域に受容すべきなのかを探ります。
経済経営学類	経済分析専攻		11:00 ~ 11:30	L棟	L-2	沼田 大輔	「弁当容器の回収から環境問題を考えてみよう」 昨年、私のゼミでは、福島大学構内に弁当容器の回収ボックスを設置して、その効果を検討したりしました。この取組は、身近なところから環境問題を解決する仕組みを考える良い題材だと思います。そして、私が勉強している環境経済学と呼ばれる分野に関係します。この講義では、この弁当容器回収の取組を例に環境経済学の一端に触れて頂きたいと思っています。
	国際地域経済専攻		14:25 ~ 14:55	L棟	L-2	大川 裕嗣	「大学進学のエコロジー」 あなたは国立大学を卒業するまでにどれくらいのお金がかかるか、知っていますか？学費だけなら、ざっと240万円ほど。でも経済学を知っていれば、わかるはず。本当は桁違いの、とんでもない大金がかかります。では、そんなにお金をかけてまで、本当に大学に行く価値があるのでしょうか？それが、この授業のテーマです。
	企業経営専攻		11:00 ~ 11:30	M棟	M-24	上野山 達哉	「経営学の考え方」 企業経営を学び、実践していくためにはどのような考え方が必要なのでしょうか。みなさんにとっては意外な点があるかもしれません。経営（学）とはどのような考え方にもとづいているか、身近なファーストフードの事例などをとりあげながら、わかりやすく講義します。
			13:40 ~ 14:10	M棟	M-24	衣川 修平	「会社は誰のものだろう マクドナルドの原価から考える」 ハンバーガーの原価はいくらだと思いますか？これは実は公表されているマクドナルドの会計報告からだいたい推測可能です。ではなぜこのような重要な情報が一般に公表されているのでしょうか。それは会社が誰のもので、会計報告を誰のために行うかという問題設定を行うと、答えが見えてきます。会社の仕組みを経済から考えてみましょう。
共生システム理工学類	人間支援システム専攻		11:45 ~ 12:15	L棟	L-3	田中 明	「生体信号の計測・解析入門」 心拍数、血圧、皮膚伝導率などの生体信号は、生体のもつ調節機能ばかりでなく、ストレスや情動による反応など様々な生体の変化を反映しています。本講義では生理パラメータの変化に関して、生理学的な原理と計測の仕組みについて解説を行うとともに実際に生理計測を行い、その変化について考察します。
			13:40 ~ 14:10	L棟	L-3	高橋 隆行	「ロボット研究の面白さ」 ロボットの開発には様々な分野の知識が必要です。それはロボットの難しさでもあり、逆に楽しさでもあります。ちょっとした発想が起る新しい技術を生み出します。この講義では、最新のロボット研究の話題をいくつか取り上げて、ロボット研究とは何か、について講義します。
	産業システム工学専攻		11:00 ~ 11:30	L棟	L-3	金澤 等	「独創性で世界に発信ー吸水性プラスチック、接着できない物を接着する」 「ポリエチレンやポリプロピレンが水に濡れないのは何故か、どうすれば水に濡れるようになるのか？」について説明します。その技術を発展させて、接着不可能なプラスチックを接着する方法、つい最近成功した「接着剤なしで接着する技術ー医療分野で使用！」をお見せします。時間があれば、世界初をもう一つ！ 地方からでも、不可能とされる事を可能にする科学を世界に発信します。午後からは、丁度、この日に開催される「ひらめき ときめきサイエンス」（日本学術振興会行事）を見物しよう。
			11:45 ~ 12:15	M棟	M-3	浅田 隆志	「資源循環型社会における炭の利活用」 資源問題、廃棄物問題、地球温暖化問題等を背景として、古くから燃料等として利用されてきた木炭等の炭化物は、再生可能な生物資源が原料であること、カーボンニュートラルの特性等のため再び注目されています。本講義では、炭とその機能性について、科学的に見るとともに、新しい技術としての利活用について解説します。
	環境システムマネジメント専攻		11:00 ~ 11:30	M棟	M-3	塘 忠顕	「卵の殻の不思議」 卵の周りには殻（卵膜）があります。昆虫の卵膜には、卵が置かれた環境に応じた仕組みが備わっています。また、昆虫の系統を反映した特徴が卵膜に見られる場合もあります。幼虫が水中生活をするコカゲロウという昆虫とアフリカ南部に生息するカカトアルキという珍しい昆虫を題材にして、昆虫の卵膜の不思議を紹介します。
		13:40 ~ 14:10	M棟	M-3	市井 和仁	「宇宙から地球温暖化を科学する」 地球温暖化問題は、現在の地球環境問題の中でも最も注目されている話題の一つです。正しい予測のためには、現在の地球環境変動をきちんと把握する必要があります。宇宙からの地球観測は、広域での環境変動を把握できるため、重要視されています。本講義では、この仕組みといくつかの興味深い結果（雪氷・植生等）を紹介します。	